

北陸新幹線レポート

～響くつち音、広がる未来～

《第5号》

平成30年9月15日発行

2023年春に敦賀まで開業予定の北陸新幹線。現在、沿線では工事が着々と進められています。本レポートでは、県民のみなさんに100年に1度のプロジェクトである新幹線事業を見て、感じていただけるよう、今しか見ることができない工事の状況をはじめ、北陸新幹線に関する様々な情報を随時提供していきます。

えちぜん鉄道高架化完了！（新幹線高架上の仮線から専用高架に切り替え）

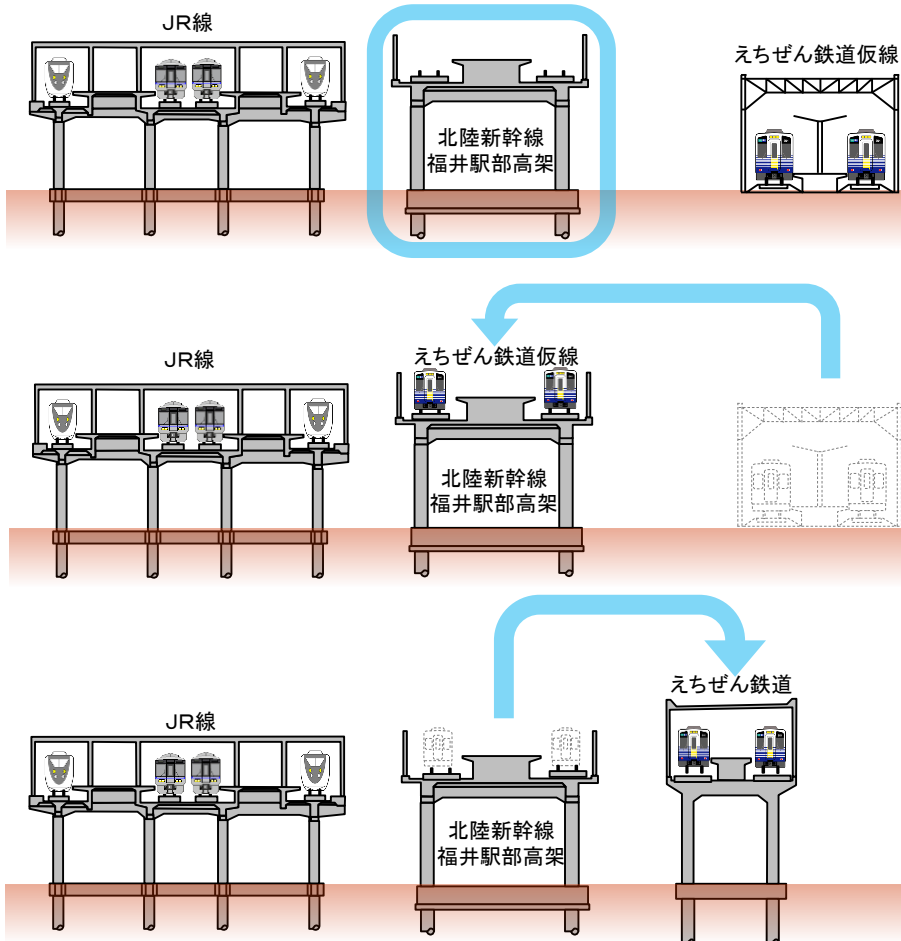
えちぜん鉄道は、平成27年9月、先行整備された北陸新幹線福井駅部（平成21年2月完成）に仮線を切り替えました。

その後、新幹線高架の東側に、えちぜん鉄道の専用高架が建設され、6月24日に専用高架への切り替えが行われました。

現在、えちぜん鉄道の仮線撤去が進められており、9月末頃までに新幹線高架へのアプローチ線などが解体、更地化され、福井駅部の北側の区間において、新幹線の高架橋工事に着手します。



《 福井駅部の仮線方式の施工順序図 》 (えちぜん鉄道高架化)



北陸新幹線
福井駅部高架完成
(平成21年2月)

えちぜん鉄道仮線切替
(平成27年9月)

えちぜん鉄道高架切替
(平成30年6月)

えちぜん鉄道の仮線を撤去した後、北陸新幹線の高架橋工事が本格化します

福井駅拡張施設の基本レイアウトが決定しました！

北陸新幹線福井駅を県都にふさわしいゆとりある駅とするため、福井市が福井駅東口に整備する拡張施設について、平成29年度に実施した基本設計において、概ねのレイアウトが決定しました。

1階に待合・休憩スペースや県内全域の観光案内所を、2階にカフェ・展示・交流スペースを配置し、1階から2階にかけて設けられる階段広場では、コンコースから直接観覧できる展示会などのイベントを行うことができます。



【拡張施設の概要】

(1) 施設規模

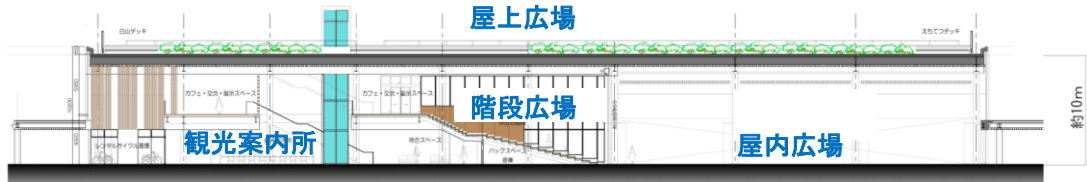
鉄骨2階建て
延床面積 約1,600㎡
高さ約10m

(2) 主な施設

1階 待合・休憩スペース
観光案内所(県内全域の観光情報を発信)
階段広場、レンタサイクル
2階 カフェ・展示・交流スペース (文化・芸術・地域活動 他)
屋上 広場

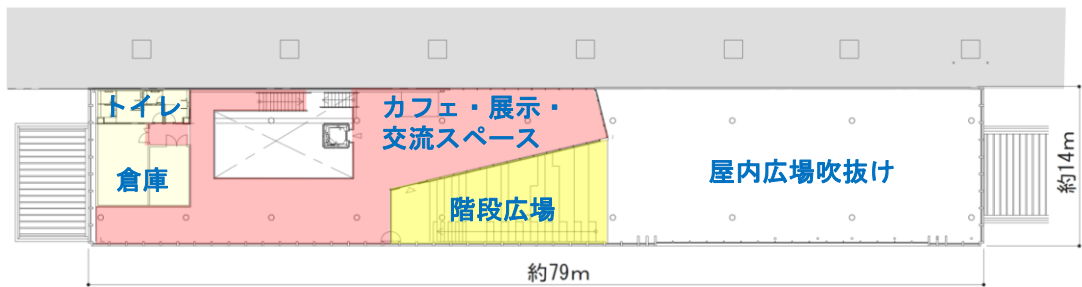


【断面図】

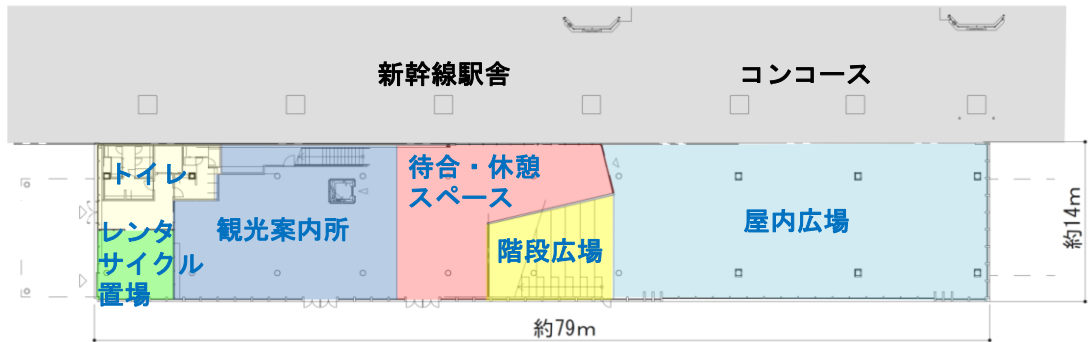


【平面図】

拡張施設2階



拡張施設1階



※ 外観イメージ、内観イメージ、平面図、断面図は、今後、変更になる場合があります。

駅のユニバーサルデザイン ～誰もが利用しやすい駅に～



駅は、仕事、旅行、帰省など様々な目的で、老若男女、障がいの有無などを問わず、多くの人々が利用する施設です。

鉄道・運輸機構は、すべての人にとって使いやすい駅とするため、ユニバーサルデザインに配慮して、県内4駅の実設計を進めています。

5月25日、北陸新幹線4駅のユニバーサルデザインに関する意見交換会を開催しました。鉄道・運輸機構から県内の福祉団体等に対し、北陸新幹線長野・金沢間の駅における対応状況を説明し、多機能トイレの利用体験や意見交換を行いました。

※ユニバーサルデザイン：年齢、性別、能力、言語などの違い、障がいの有無を問わず、すべての人に使いやすいデザイン

敦賀車両基地(仮称)の整備が始まりました



2023年春の敦賀開業に向け、県内唯一の車両基地となる「敦賀車両基地(仮称)」の工事が始まりました。新幹線車両の留置や点検などの役割を担う車両基地は、当面の終着駅である敦賀駅の南側に整備されます。

基地内には、新幹線車両を留置する「着発収容線」のほか、車両の点検を行う「仕業検査線」、車両についた雪を取り除く「融雪線」、不具合が生じた場合に修理する「臨時修繕線」などが整備されます。

現在、盛土工事を行っており、9月末から基礎杭に着工する予定です。

小学生向け小冊子「新幹線が福井にやってくる！」を発行しました

2023年春の敦賀開業に向けた県内の機運醸成のため、小学生向け小冊子「新幹線が福井にやってくる！」を発行しました。

越前市出身の鉄道写真家である南正時さんやJR西日本、鉄道・運輸機構から提供いただいた新幹線車両や工事の写真をふんだんに使い、県内の工事の状況などをわかりやすく紹介しています。

また、「新幹線博士」や「まさときくん(南正時さんにちなみ命名)」、「ななみちゃん(北陸新幹線E7系、W7系にちなみ命名)」が、北陸新幹線の豆知識などをイラストを交え、わかりやすく紹介しています。



8月14日、作成に御協力いただいた南正時さんの鉄道トークショーにおいて小冊子をお披露目しました。今後は、北陸新幹線現場見学会、出前講座、啓発イベントなどで活用していきます。

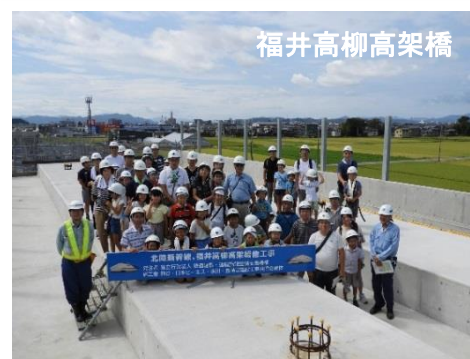
新幹線が福井にやってくる！

検索

「新幹線が福井にやってくる！」表紙

※ホームページからPDFをダウンロードできます。

北陸新幹線親子現場見学会を開催しました



福井高柳高架橋



第2福井トンネル

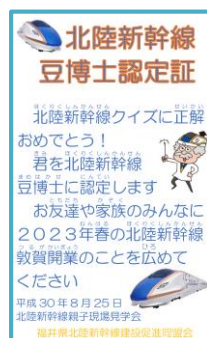


九頭竜川橋りょう

8月25日、小学生とその家族51名(23組)が参加し、福井市内の北陸新幹線工事現場(福井高柳高架橋、九頭竜川橋りょう、第2福井トンネル)見学会を開催し、高架橋上部やトンネル坑内など今しか見ることができない工事現場の様子を間近で見学しました。

参加者は、現場責任者から構造や工法の説明を受け、工事への理解を深め、「完成したら、絶対に乗りたい。」と敦賀開業に向けて期待を膨らませていました。

最後に、「新幹線が福井にやってくる！」に掲載の北陸新幹線クイズに挑戦し、正解した小学生の皆さんに「北陸新幹線豆博士認定証」を交付しました。今後も現場見学会を沿線各地で開催していきます。



北陸新幹線豆博士認定証

並行在来線の経営・運行に関する基本方針を決定しました

8月2日に開催された福井県並行在来線対策協議会において、北陸新幹線敦賀開業時にJRから経営分離される北陸本線の県内区間について、経営・運行に関する基本方針を決定しました。

基本方針に基づき、第3セクターの早期設立など必要に応じて開業までのスケジュールを見直し、安全・安定運行が図られるよう、さらに検討を進めていきます。

《福井県並行在来線対策協議会》

経営・運行のあり方などを協議するため、県や市町、経済団体、利用者団体などで構成の並行在来線対策協議会を設置しています。

同協議会では、経営形態やダイヤ編成などについて、他県の先行事例も参考に、安全・安定運行、県民の利便性確保を念頭に検討を進めていきます。

【JRから経営分離される区間】

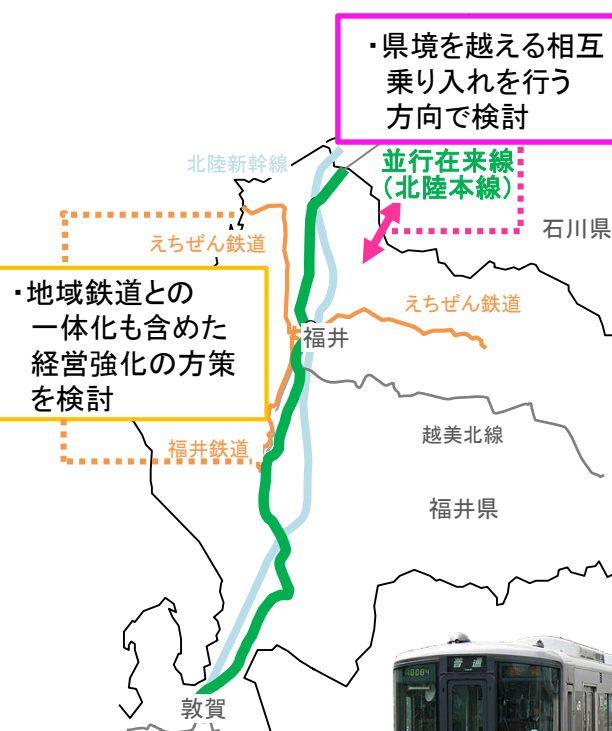
・北陸本線 石川県境～敦賀駅間
(79.2km 18駅)

・利用者数 約19,000人/日
(普通列車のみ)



福井県並行在来線対策協議会の様子

並行在来線（北陸本線 石川県境・敦賀駅間）の経営・運行に関する基本方針の概要



○ 経営形態

- ・福井県内単独の第3セクター会社
- ・上下一体経営(※)
- ・地域鉄道との一体化も含めた経営強化の方策を検討

○ 運行計画

- ・増便や快速列車の運行を検討
- ・県境を越える相互乗り入れを行う方向で検討

○ 利用促進策

- ・地域と事業者、行政が連携し、旅客サービスの向上や新たな利用者の開拓、マイレール意識の醸成など、鉄道利用の増加につながる方策を検討

○ 国およびJR西日本に対する支援の要請

- ・財政支援制度の拡充などを要望（国）
- ・施設・設備の譲渡や修繕、要員の確保について、協力および支援を要請（JR西日本）

※列車の運行と鉄道資産の所有・維持管理を同一の事業者が行う経営のこと



発行：福井県総合政策部新幹線建設推進課
〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17-1
Tel：0776-20-0298

Email:shinkansen@pref.fukui.lg.jp

写真提供：南正時（鉄道写真家・福井県出身）
西日本旅客鉄道株式会社
独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構



建設現場の定点写真をホームページで公開中！

福井県 新幹線工事

検索